

パネル 2013年度せんだいメディアテークでの企画

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): Tohoku Gakuin University 作成者: 東北学院大学文化財レスキュー班 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/362

牡鹿半島のくらし展 in 石巻 開催

パネル作成：阿部千賀子
伊藤瑞穂
櫻井かほり

◎ 広報活動

石巻展では展示会場の一部に、これまでおこなってきた活動を紹介した映像ブースも設けました。映像は被災直後の資料救出の様子や、資料のクリーニング、これまで開催してきた展覧会の様子などを放映しました。

さらに、来場者の方から資料についての聞き書き調査をおこなうだけでなく、文化財レスキュー活動について口頭で紹介することも心がけました。



映像ブースの様子



資料展示の様子



身振りを交え資料の使い方を話す



家族連れも多く来場した

◎ 鮎川での展覧会との違い

石巻展では、展示場所がサン・ファン・パウティスタ号のすぐ脇であったことから、鮎川展よりも大勢の方に来場していただきました。

地元の方が多く来場した鮎川での展覧会に対し、石巻展では地元の方はもちろんのこと、県内外から訪れた方も多く、話の内容にも違いがみられました。例えば鮎川では漁業や農業に実際に携わっていた方が多かったのですが、石巻では来場者自身がそういった仕事はしていなかったものの、親や近所の方がやっていたという話を多く耳にしました。



サン・ファン・パウティスタ号会場全景

◎ 「牡鹿半島のくらし展 in 石巻」を終えて

石巻展では予想をはるかに超えた1000人近い来場者数を記録し、その中で様々な話を伺うことができました。語られる思い出は非常に興味深いものばかりでした。今後はそれぞれの学生が得たデータを整理・共有していくことで、牡鹿半島のくらしを追体験し、地域のイメージを描いてゆくことを目指します。